

事務事業名		チャレンジフロア管理運営事業				評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり				担当組織	担当部	産業文化部	担当課	商工課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり				担当係	商工振興係	担当課長名	木村 晴一	
	施策	2 活力ある商業・鉱工業の振興				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 事業者に対する助成と支援の充実				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H23年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市まちなかチャレンジショップ条例 佐野市まちなかチャレンジショップ条例施行規則			
						事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業
								任意的事業・義務的事業		任意的事業
								実施方法		直営
								事業分類		その他市民に対する事業
								リーディングプロジェクト		該当なし
								市長マニフェスト		3-4

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
・まちなか活性化ビル「佐野未来館」3階のフロアを、新規事業者が本格的に開業する前にチャレンジショップとして利用できるスペースを提供している。 ・新規事業者は、事業を営んでいない個人で、本市において新たに事業を開始しようとする方、事業活動を既に行っている個人または会社で、既に実施している事業以外の事業を開始しようとしている方、事業を休止している個人または会社で、本市において他の事業を開始しようとしている方が対象 ・チャレンジショップはA、B、Cの3か所があり、Aは飲食店専門、BCは物品販売等のショップで、利用期間は6か月以内、施設利用料・光熱水費は無料である。			・平成25年度は、Aにおいて「mammy's cafe」(H25.5.7～11.6)(H25.11.7～H26.1.31)、Bにおいて「さのまるショップ」(H25.5.10～11.9)(H25.11.10～H26.2.9)、「さのまるショップ with ティーディー」(H26.2.10～8.9)、レンタルボックス「サロンみちくさ」(H25.4.1～9.30)(H25.10.1～H26.3.31)が営業						
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			チャレンジショップ制度周知回数	回	-	3	3	3	4
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
① 市内で新たに事業を開始しようとしている方 ② 市民・来訪者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			市内事業所数	所	6,595	6,595	6,595	6,595	6,595
目的									
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
① 本格的に開業する前の試行の場が無料で提供され、まちなかで開業するきっかけをつくる。 ② 多くの方にチャレンジショップに来てもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			チャレンジショップを利用し、まちなかに開業した店舗数	店舗	0	1	1	1	1
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
起業を決断できる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			制度融資の申込件数	件	602	570	600	600	600

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		千円					
投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
事業費の内訳	地方債	千円					
	その他	千円					
事業費の内訳	一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		のべ業務時間	時間	50	50	50	50
トータルコスト(A)+(B)	人件費計(B)	千円	195	197	197	197	197
	千円	千円	195	197	197	197	197

事務事業名	チャレンジフロアー管理運営事業	担当部	産業文化部	担当課	商工課	担当係	商工振興係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	まちなか活性化ビル「佐野未来館」の3階をまちなか活性化及び創業支援の場として利用するため、例規を整備し、平成23年度から制度開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	長引く景気の低迷に加え、東日本大震災の影響を受けて、市内事業者を取り巻く情勢は厳しい状況にある。このような中で創業を支援する場の重要性は高まりつつある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	チャレンジショップの制度をより周知すべきとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	平成26年度は具体的な改革改善の取り組みはできなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	市内で新たに事業を開始しようとしている方にチャレンジショップという試行の場が提供されることは、まちなかで開業するきっかけとなり、中心市街地の活性化に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	チャレンジショップは創業支援及び中心市街地活性化に貢献する事業であり、市として積極的に進める必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	この事業は、市内で新たに事業を開始しようとしている方に試行の場を無料で提供することで、まちなかで開業するきっかけをつくってもらうための事業であるため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	制度を知らない方もいるので、佐野商工会議所や佐野市あそ商工会と連携し、創業支援などのセミナーでチラシ配布やチャレンジショップの説明を行うことも検討すべきである。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	
	*類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は、平成23年度は県緊急雇用創出事業により、臨時嘱託員を雇用したが、23年度限りで24年度以降は事業費なしで事業を行っている。人件費は、チャレンジショップの管理運営のための業務所要時間であり、これ以上削減は難しい。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	今後、受益者負担を求める必要がある	理由・改善案	この事業の受益者は、チャレンジショップの利用者である。現在、施設利用料及び光熱水費全てが無料であるため、光熱水費の自己負担を求めることも検討すべきである。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	3階のフロアーがチャレンジショップ以外の目的で利用することになれば、本事業は廃止できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し) : 受益者負担の適正化 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①佐野商工会議所、佐野市あそ商工会と連携し、創業支援のセミナー等の参加者にチャレンジショップ周知のための説明を行う。 ②光熱水費の利用者負担を検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>②</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		①		維持	②		×	低下		×	×	セミナー等で説明を行う場合は事前に佐野商工会議所、佐野市あそ商工会と十分協議する必要がある。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		①																						
	維持	②		×																					
	低下		×	×																					